

未来への遺産を創造する ハートフルコンストラクター 荒牧組



↓ここをクリック
過去の 社長の雑談

<お世話になりました> H25. 4. 1

まる5年間、社長業をやらせて頂きました。本当に、どうしたことかと思いつつも、皆様のお助けを頂き、あっという間の5年間でした。本当に本当に有難うございました。

こんな、たよりの無い社長で、社員にはおおいにご迷惑を掛けたなと思っています。

就任当初、なんで私がという想いでした。そして、やがて、それは私の使命は何か?という宿題を頂いたんだという想いに変わりました。

それは、夫が出来なかつた後継者をという想いにかられ、すべてのエネルギーをこの事に費した5年間だった様に思います。

お陰様で、二人の息子(娘婿)に恵まれ、このたび会社を任せることが出来そうです。ほんの少しですが、ホッとしています。

この難しい時期に、先の見えないこんな時、この思い荷物を背負わせるのもとてもつらいのですが、彼らには出来ると思い決断いたしました。何とか、頑張ってほしいと思います。

どうか、私以上のお引き立てをお願いいたします。

このページも、夫の後をと思い、ささやかに続けてきましたが、そろそろページを閉めようかと思います。

こんな拙いページを読んで下さった皆様、本当に本当に有難うございました。

<雛めぐり3> H25. 3. 3

今日は、氏家雛めぐりの最終日です。

2月の初めから1ヶ月以上、本当に氏家の町は賑やかでした。昨年よりも、より多くの人が来てくれたみたいです。お雛さまが、こんなに集客力があるとは…。

雛めぐりスタッフの方々のご苦労が、本当に感じられる1ヶ月でした。

そして、お雛さまにも、寒いなか本当にご苦労さまでしたと…、ちらし寿司と甘酒で感謝をしました。

お雛さまを開ける時のワクワク感とは違い、しまう時はちょっと寂しいですね。来年もまたよろしくねと声をかけてしましました。

<雛めぐり2> H25. 2. 23

一年の一番寒い時に出したお雛さま。今日は開けるのやめようかと思うほどの日もありましたが、やっと何となく春の日ざしが感じられる様になりました。お雛様も、気持ち和んでいる様な気がします。

土日はもちろんのこと、平日もけっこうの人が観に来てくれている様です。

我が家は窓越しからも「わあ、ここのは渋いネー」「3人官女、可愛いねー」とか、いろいろな声が聞こえて来て、私たちも楽しませて頂いています。

町中を、こんなに人が行き来するのって、やっぱりとてもいいものです。

<祥月命日に> H25. 2. 21

毎年のことなのだが、この季節、この日が近づくにつれて、彼への思いはなぜか強くなりま

す。
この2月で、まる5年の歳月がながれてしまいました。この5年の歳月は、私自身をどの様に変化させるものなのか、とても興味深いものがありました。

そして、それは、居なくなつて初めて彼との関係性をよ～く知ることが出来た様な気がします。そして、自分のなかでの彼の存在の占める大きさも確認できた歳月でした。

ひとがひとりで生きるということも含め、多くの事を学ばせてもらいました。

そして、これから、どれだけの命が残されているのか分かりませんが、私というささやかな自分を、またまた興味深く見つめてみたいと思っています。

<雛めぐり> H25. 2. 3

昨日から、氏家雛めぐりが始まりました。

初日は、土曜日ということもあって、かなりの人が歩いていました。

今日は最初の日曜日、暖かいこともあり、ちょっと遠い所を、ということで出掛けできました。

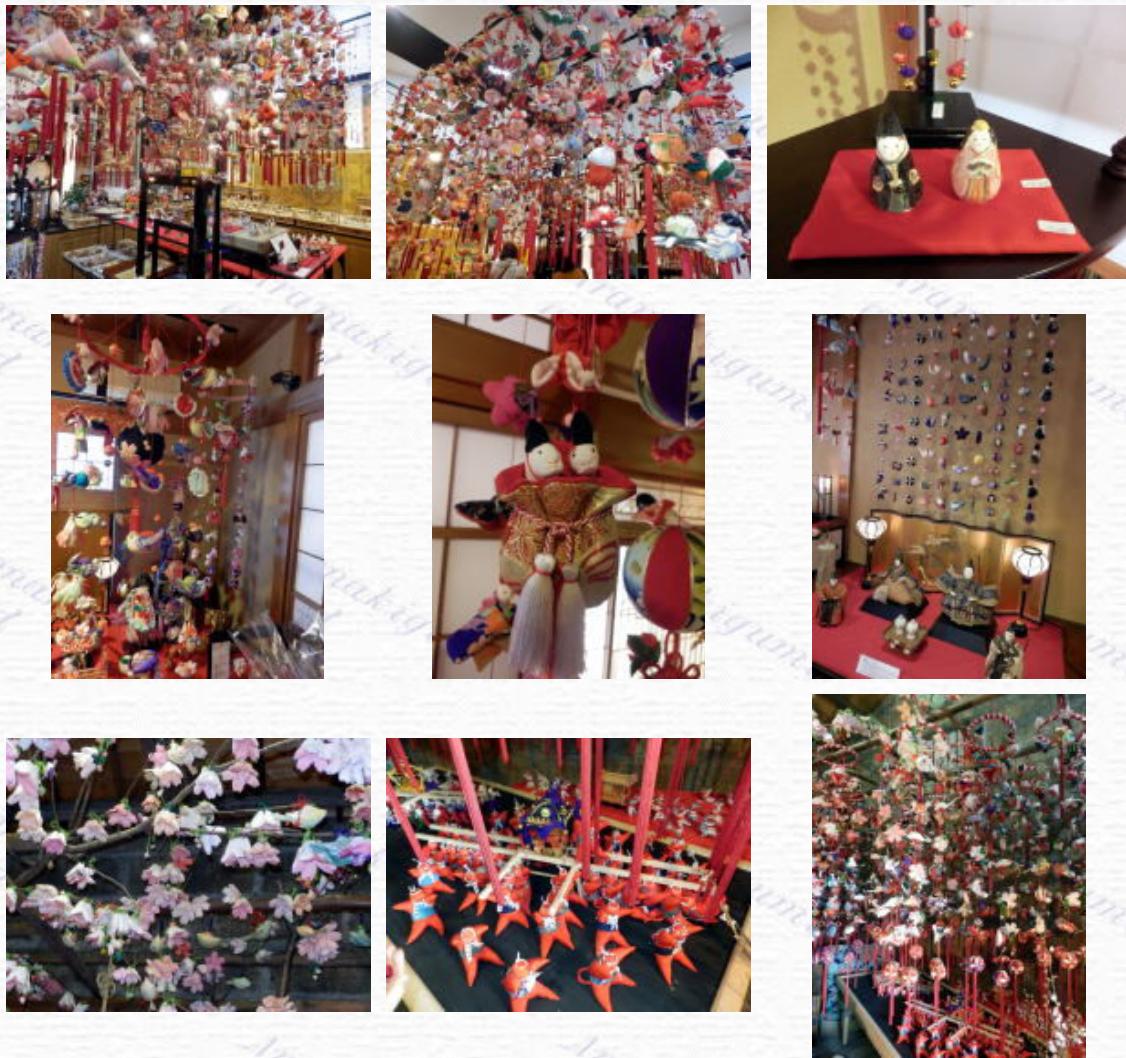
我が家はちつとも変わり映えしないのだが、皆さんはいろいろと思考を凝らしてグレードアップしている様でした。どこもつるし雛が美しく、下にあるお雛様よりも上を見上げてばかりのような感じでした。

一年間、飾りためていた手作りのもののように、本当に素晴らしいものばかりです。中心地からちょっとはずれていても、すごい人気のようでした。



← ↓ 我が家のお雛様です





<ビオラ> H25. 1. 28

今日は、寒い予報のわりには、日中とっても暖かい日ざしになりました。

この寒さの中、枯れずに頑張っていたビオラの花つみをしました。そして、水をたっぷりやりました。



<お雛様> H25. 1. 26

「お雛様の紙を開けたいからヨロシクネ！」と孫から念を押されました。

彼女の居ない留守に、お雛様の飾り付けをしてしまい、泣かれたことがあり…、それ以来、皆で飾り付けをする様にしています。

薄紙をほどき、一年ぶりの雛の顔を見るのって、ちょっと感動いたします…。

今年も無事にお雛様を飾れるって本当に幸せですね。

今年も、2月2日から”氏家ひなめぐり”が始まります。我が家は、同じお雛様ですが、見にいらして下さい。



<版画> H25. 1. 20

何年かぶりに川上澄生美術館に行って来ました。

今回は、年賀状展をやっているという事もあり…、(孫の保育園でもエントリーしているという事で)出掛けた来ました。

美術館は、黒川のほとりの可愛い建物です。ほんとうに小さな空間なのですが、いつ行ってもとても良い気分で帰って来ます。

何かほっこりと懐かしく…、レトロでおしゃれで…川上澄生の美学が本当に伝わります。



<停電> H25. 1. 14

この冬はじめての大雪、家にとじこもりっきりで過ごしたのですが、夕方から突然停電に…、この寒さのなか、電気がないってこういう事かと、またまた思い知らされました。

1分もたたないうちに家中は冷え切ってしまい…。ケイタイ電話も繋がりません。

あわてて、ごそごそとローソクを捜し、やっと灯りを確保しました。

3. 11の時も思ったのですが、電気を頼らずに何とか最低の生活が出来なければと、いつも考へていなければいけませんね。

我が家は、アラジンのストーブで暖をとり、ほんのちょっと寒さをしのぐことが出来ました。わずか、数十分だったからいいけど、ずっとこんなのが続いたら、本当に死んでしまいますよね…。

ちょっと、もっと何かを考えなければですよね…。

あまりにも電気に頼り過ぎる生活を反省せねばと、またまた反省をした成人の日でした。

<心ひかれる言葉> H25. 1. 9

長い正月休み、ひとりっきりで、どっぷりとTVを観たり、音楽を聞いたりのぜいたくな時間を過ごしました。その中に気になったステキな男のステキな言葉を…。

①BSの番組でしたが、コロンビアのイスロニ島という小さな島のレポートでした。その男性は

漁で生計をたてています。

1日2000円、月に5万円位の収入だそうです。毎日、もりでエビ漁をしている彼に「家族って何ですか?」と、すると「人間が持てる、もっとも神聖なもの」と答えました。

う~ん、皆、そんなこと考えたことありますか。すごい言葉ですよね。その彼が言いました。自分の子供はサッカー選手にしたいのだそうです。

②NHKの裸にしたい男大沢たかおを観ました。

彼のことは、深夜特急をやっていた頃から気にはなっていたのですが、その彼が言いました。

「もうひとつ上のステージを行きたい。そして、それは核心に近づいている。僕は若い時から、人間とはなんぞや、何で生まれてきたのか、などと考えて来た。そして、それは生きて行く事でその答えを見つけたい」

なんと、真摯な言葉であろうか。若いのにスゴイと思いました。私など、この年になり、やっと、すこ~しそんな事を思っているのに…。

<バニラアイス> H25. 1. 4

あつたかい新幹線の中で、孫とバニラアイスを食べました。う~ん美味しいけどこんなもんじゃない…。

私には、忘れられないアイスクリームがあります。50年以上も前の話になりますが…。

年に2回くらいでしたが…、私の母の実家は神奈川県の平塚です。長い汽車の旅の時に、母は必ずバニラアイスを買ってくれました。駅で、汽車の窓越しに買ってもらったバニラアイス…「え~アイス」というおじさんの声とあのカップの感じまで…あの美味しい味がよみがえって来ます。

あんな美味しいアイスはいまどこに…。

それともうひとつのアイスクリーム。

平べったい銀のカップに半月に盛ったアイスクリーム。これも、その昔、デパートの食堂で食したアイスクリーム、あのぜいたく感たっぷりなアイスクリーム…。

今の子供たちは、やがて、なつかしい食の思い出って、何になるのでしょうか…。

<あけましておめでとうございます> H25. 1. 1

寒さ厳しくも穏やかな新年を迎えることが出来ました。

今年は、いったいどんな年になるか大いなる期待を抱いてしまいます。

まあ、思惑通りにはいかない事は分かっているのですが…。新年くらいは、夢を描きたいものですね。

どうか今年もよろしくお願いいいたします。

<今年も…> H24. 12. 25

今年も、残すところ1週間を切ってしまいました。

時の流れの速さを感じながら、世の中のうねりの中に巻き込まれている自分たちを、しっかりと自覚し生きていきたいと思います。

今年を反省しつつ、新しい年へのすこしの期待を抱きながら新年を迎えたいと思います。

本当に一年間有難うございました。(こんな拙いページを読んで下さってる皆様)

どうか皆様も、寒さのなか、どうぞご自愛のほどを…。

そして、素晴らしい新年を迎えられますよう…。

<吹奏楽> H24. 12. 22

氏家小学校吹奏楽部のクリスマスコンサートに行って来ました。

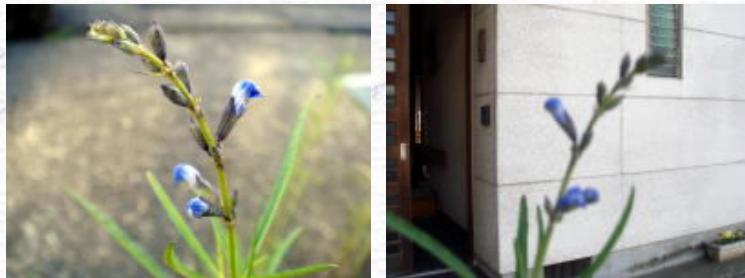
吹奏楽は、私の娘たち3人ともやっていたので、トピラを開けた瞬間、なつかしい思いがフラッシュバックしたようです…。子供と一緒にとても楽しませてもらった思い出が、一気によみがえって来ました。ちょっと胸がキューンとなりました。

音楽の記憶って、一番かも…昔の風景のみでなく、その時の感情や、香り臭いまでも、呼び起こしてくれます。

<コバルトセージ> H24. 12. 7

花の色に一目ぼれして買い、植えたものですが、もう3年目になるでしょうか。

いっこうに咲かない花に、いつも11月末に切り戻していたのですが…びっくり、かわいい花穂がゆれています。本当に美しいブルーです。



<熱気球> H24. 11. 23

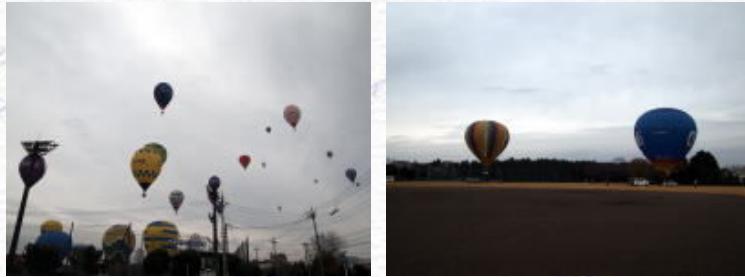
初めて熱気球をまじかで観ました。

熱気球も愛好家が沢山いて、ルールにのっとり競技をするらしいです。

今日は、芳賀町役場の附近から出発という情報を得、追いかけました。

30基ほどでしょうか、次々と空中に舞い上がり、ゆっくりと空中を風に乗って移動します。よく分からぬが、飛ぶ方向は風まかせらしいです。

眺めているだけでも素敵なのですが、一度乗ってみたいものです…。



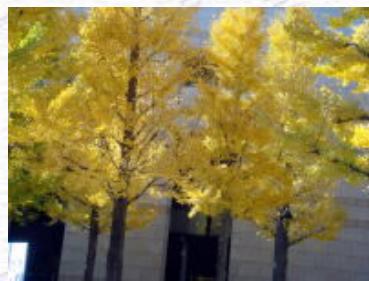
<いちょう 銀杏 公孫樹> H24. 11. 22

里の紅葉もすっかり終わりに近づいたようですが、いちょうが最後の輝きを放っています。

先日、宇都宮へ用事が有り、県庁前を通ったのですが、文化センターのイチョウが大きくなり、素晴らしい美しさでした。思わず車を2回めぐらせてしまったほどです。文化センターの建物ともよくマッチしている素晴らしい黄色でした。

でも、やっぱり、今宮神社の公孫樹が一番ですね。黄色のじゅうたんの時、写真を撮らせて

ただきました。



←宇都宮文化センター
のイチョウ

氏家の今宮神社の公孫樹→



<星を観る> H24. 11. 20

ちょっと寒いけど、空がすっきりと晴れています。押上小学校の校庭で「星を観る会」があるということで、参加させて頂きました。

夜の空を眺めるのって、いつも何となくやっています。我が家家の狭い視界からの星空でも、空をあおぐってとてもいいものです。

押上小学校は、廻りが灯りも少なく、星を観るにはとてもいい環境のようでした。庭に何台もの望遠鏡をしつらえ、いろんな星に焦点を合わせてあり、びっくりしました。

「惑星で、この時間に一番大きく見える木星で～す。4つの惑星も見えますよ。」と先生の説明があり、大気のゆらめきの中に瞬間しましま模様が見えたりして、感動でした。

その他、スバル・アンドロメダなど、次々と見せて頂き、肉眼ではとうてい見られない輝きに感心・感動でした。その間にも、サーチライトを使い、秋の星々を説明して頂き、あっという間の2時間が過ぎてしまいました。

すごい寒かったけど、こんな長い間、天上を見あげる事って無いので、心も体もとてもリフレッシュしている様な感覚になりました。

「次の機会は、冬の星で集まりましょう」と先生がおっしゃいました。もう8時もまわっていました。そうこうしているうちに、東の空から冬の星座の王であるオリオンがゆっくりと上がって来ました。



←望遠鏡ごしに、
月のクレーターまで観る
ことができ、孫たちも大興奮
でした。

<10年前の声> H24. 10. 13

「今年スイートテンなの～」と娘がいいました。そういえば長女夫婦は結婚10年か～、とあつという間の10年をかれりみました。

そういうば、夫の遺影は、長女夫婦の結婚式の時のものです。とても、にこやかに笑っているその写真には、この4年間、どんなになぐさめられたものか。

そんな事を考えている折、「しんちゃんの挨拶の声です」と塩原の弟から、カセットテープが届きました。「え～っ」と…。毎日、写真の夫には、お目にかかるつて…。

それは、会社の新年会の時のものです。しばらく写真の前に供えてあり、聞かなかつたのですが…。

テープの中の声は、私の中に居る彼の声よりもワントーン高く、とても元気そうな、よそゆきの声の様でした。しかし、なんと訛っているとか、彼は栃木弁と訛りを誇りにしていたので、思わず笑ってしまったほどです。

話の最後は、好きだった相田みつをの言葉を借り、「分け合えばあまり、うぱい合えば足りず…」

彼らしい言葉の数々に癒されていました。

これって何年前？と調べてみたところ、なんと2002年2月2日とありました。奇しくも、10年前だったなんて、写真と声がぴったりと一致した瞬間でした。

<ノーベル賞> H24. 10. 9

山中伸弥さんが医学生理学賞を受賞されました。

iPS細胞という、根本的な治療法の無かった多くの神経難病などの発症のしくみの解明とその治療法の開発、医療への幅広い応用など、可能性が大きく広がっているそうです。

先ごろの日本人のノーベル賞者も、日本中が大いに喜び感動しましたが、私たち凡人が理解するには、少々難しくて…。

今回の山中先生の受賞は、今までに無く、興味を引き付けられたものでした。実際に、そう遠くはなく、役に立つのであろうこと、私たちも、何となく理解出来るところの研究のような気がします。多くの病気の人たちも生きる元気を与えてもらったような。

しかし、この素晴らしい発明が、よい方向だけに発展していってくれますようにと祈りたいなと思います。

<便利な生活への…> H24. 10. 2

ちょっと風邪っぽい感じもあり、うたた寝をしていたら、寒くって寒くって。

ついに10月もまだ頭だというのに、コタツを入れてしまいました。ここ数年、11月に入つてから本格的に炬燵の登場なのですが…。

私たち、何事にも便利な生活に慣れっこになってしまっています。スイッチを入れれば暖がとれ、明るくなり、涼しくなり、こんな贅沢な生活で本当にいいのか？といつもいつも考えています。

幼い頃、火を熾して暖をとり、などと思い返してみると、いったいこの今の生活は…。

この便利な生活の裏にある大きな何ものかへの依存を考えると、ちょっと恐ろしい感じがします。

これが当たり前と考えると、ちょっとちょっとと思ひます。

特に、子供たちへの自然回帰への経験をぜひさせなければと…。

そのうえでの、この有難い生活を頂く…これってとても人間として大切なのでは、と思つちゃたりしている年寄りの今日この頃です。

<ディズニー> H24. 9. 17

男子は海にカニ捕りに、女子はディズニーのアイスショーとそれぞれ出掛けました。

私も、今回は、スケートが観られるというので、女子班におともしました。多分、素敵なんだろうとは思っていたのですが、予想どおりとても楽しいものでした。

我が家の中も孫たちもディズニー好きで(いや、親が好きなのだ)、いたるところにグッズが転がっています。

東京ディズニーランドは、私の子供達が小学生の頃に出来たのですから、以来、孫というよりも、その親が好きなようですね。

私も、なぜ? そんなに…とバスに見ていましたが、やっぱりショーなどを見ると、ちょっと魅了されるわけがわかる様な気がします。

しかし、ディズニー好きの親子って、こんなにいるんだと感心するばあばでした。

<氏家小運動会> H24. 9. 15

昨年よりもまた大きくなった孫に、お昼の差し入れをと思い出掛けました。

あまりの暑さに、すぐに帰るつもりが、子供達の一生懸命さに、つい見とれてしまいました。

5年生の組体操などは、素足で熱い砂上の演戯に感心しました。私も試しにハダシで砂に立ってみたのですが、"アツツ、あつい"。

今の子供は軟弱だ、などとは言うまいと思いました。



<やっと咲いた> H24. 9. 13

耳もとで大合唱のような、スズ虫・こおろぎ・スイッショ…、にぎやかな虫の音が子守唄の季節になってしまいました。

朝晩は、ほんとうに涼しくなり助かります。

この夏は、本当に厳しかったので、何とか元気にやってこられたのは、有難い事だと思っています。

が、ほっとしたこんな時に、夏の疲れが出て、ダウンしたりすることもあるので、この季節こそ要注意ですね。



夏の間、ちっとも咲かなかったアサガオが、やっといま咲いてくれました。
秋の空のような美しい水色です。

<父の命日> H24. 9. 12

今日は、実家の父の祥月命日です。

娘たちとお墓参りをしてきました。なかなか、命日の日ぴったりにはお墓に行けないのですが、今日は本当に良かった…。

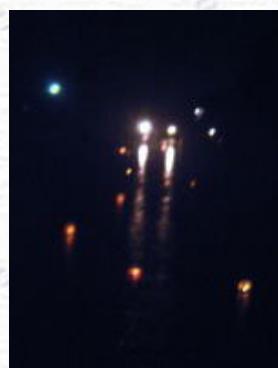
年々、遠い人になっているはずなのに、ちっとも遠くならない父。これって、なんなんだろうか?不思議でなりません。

<夏の思い出> H24. 8. 20

暑い暑いと言いながらも、日射しはゆっくりと奥へさしこんで来、空は本当に高く、わずかながら秋の香りも感じられる様です。

この夏も、お祭りやら、花火大会やらと、孫たちと楽しい時を過ごすことが出来、またひとつ、ふたつ、夏の思い出が出来ました。

なんとか無事に夏を乗り切れそうな気がしています。”感謝”。



(草川とうろう流し)



<雑草> H24. 8. 17

雑草とは、”自然に生える雑多な草”なのだそうです。

何を抜いて何を残すか？？草むしりをする時、少し考えます。

何とも可愛いスミレや母子草、その他抜いてしまいたくないものも沢山あります。

しかし、そんな事は言ってられないほど、我が家の中庭は夏草のジャングルです。草取りの人達が入って10日もしないうちに、またぎっしりと生えてしまいました。

自分の通る道だけは、こまめにむしってあるのですが、庭の奥はとてもやってられません。本当に草との戦いです。

毎日毎日、庭に座りこんでいた母の姿を、毎日毎日思い出しています。

<オリンピック> H24. 8. 11

日本勢の大躍進の様子が毎日伝えられています。

彼らの姿を見ていると、彼らの歩んできた道のりが垣間見える様な…、たいへんな努力と忍耐の時を越えての姿…、それだけでオリンピックに出られるとは思えないが。きっと、天が与えてくれた能力と努力とジャストチャンスなのか…。

いろいろなインタビューを聞いていると、本当に彼らはスゴイと思うことだらけで。彼らのうしろの光の当たらない人たちの土台があって、自分がいる、ということも良く解っている様で、素晴らしい言葉が返って来ますよね。

スポーツを通して知った彼らが、人としても素晴らしいであろうということを思いつつ、感動をもらっています。

後に続く多くのスポーツ少年たちのためにも…本当にオリンピックだなあと思いつつ…そんなわけで、ちょっと夜更かしが続いている私です。

今日、東京の姪が来ました。彼女が「この前の北京オリンピックは、 shinちゃんの初盆だったの。おばあちゃんとオリンピックを見たの。」と言いました。そうか、彼はオリンピックの年に逝ったんだっけと思ひだしています。

<夏祭り> H24. 7. 21~22

平均気温が10度も下まわる涼しさのなかでの商工会祭、お天王祭でしたが、とても大盛況でした。

我が家は、通り沿いにあるので、お祭りのときだけは特等席です。行き交う人の多さは、今年はとても多かった様な気がします。

浴衣姿の子供達が多く、お祭りの気分は最高でした。二日間とも、けっこ盛り沢山のイベントがあり、とても楽しませて頂きました。

恒例の”阿波踊り”も、最後には一般の人も巻き込んでの楽しいものになりました。

ちょっと涼しかったせいか、我が家の中庭に出ていた氷屋さんは、少し暇そうでお気の毒でした。





<夏本番> H24. 7. 20

今日は、とても涼しい日になりました。ここ2~3日の暑さを忘れさせてくれています。

氏家も、明日からお祭りです。子供達も夏休みに突入し、夏本番となります。

子供の頃の夏の思い出は、こんな年寄りになっても、断片的に記憶のかけらとしてよみがえって来ます。

今年も、よい夏の経験が出来ますようにと思いつつ…。



(会社のむくげです。10年くらいになりますが、こんなに花をつけました。)

<片付け> H24. 6. 17

ずっと懸念していた部屋の片づけを、ここ1週間ほど前から少しづつ始めています。

広く、浅く、いろいろとやってきた道楽の材料やら本・雑誌・雑貨などなど…。自分でも、よくもこんなに集めたものかと感心しています。

が、20代のその昔からちっとも変っていない自分の趣味、趣向、好みに少し驚いています。今でも買うであろう本やら美術書やら雑貨など、ちっとも変っていない自分にあきれています。ちっとも成長していない自分を発見してしまった感がし、ちょっと残念思ったり、変わらない自分を好ましく思ったりもしています…。

そして、ゴミの山にボー然としています。私が死んだら娘たちは大変だ～、少し本気になって片付けなければ…。

ちょっと自分を追い込まなければ出来ない性格にも困ったものだ～と思いつつ。

＜表紙＞ H24. 6. 8

あまりの表紙のインパクトに思わず本を買ってしまった。という話を聞きました。そんな事もあるかもと思いつつ聞き流していたのですが…。表紙といえば…。

当社のホームページの表紙、ず～っと同じです。”真っ赤に紅葉した雪やなぎ”。なんでいつもこの写真なのかと不思議に思う人がいるかもしれません。

私にはどうしても変えられない理由が…。

あの写真は、夫が亡くなるまえ、最後に撮った写真なんです。鬼怒川沿いの日光連山をバックに、すごいロケーションの中の紅葉でした。あんなに美しく色づいた”ゆきやなぎ”をその後見たことがありません。その後、何回か写真を撮りには行ったのですが、あんな素敵なお葉はありませんでした。

今の季節の写真をと、いつも思うのですが、なかなか取り替えられません。

＜科学のちから＞ H24. 5. 21

孫たちと皆既日食を観ました。

163年ぶりということで、晴ってくれるといいと思っていたが、本当に良いお天気でした。

日食を見られるということ自体もすごいのですが、何よりも現在の科学の力には本当に感心します。こういうぴったりの自然現象を予知することが出来るなんて。

地球に衝突するかもしれない小惑星の軌道をも計算でき、またそれを食い止めるなどということも出来るらしい。

こんな事で感心するのも時代遅れなのかしら？？地球を飛び出していっている時代に…。

しかし、ほんの地球で起きること、日本で起こること、身近で起きること…の重大な現象はなぜ予知できないのだろう…まだまだ人の”ちから”は未開発なの？

やっぱり、神のみぞ知るということなのかしら…。

＜グローブピンク＞ H24. 5. 20

いま我が家家のクローバーピンクが満開です。

ナデシコの一種なのですが、あまいスパイシーな香りがします。香り、花の色、形とどれをとっても素敵です。

もう何年も、毎年咲いてくれます。

いつもこの時期はごっそりと切って花瓶に入れますが、部屋中、良い香りに包まれます。



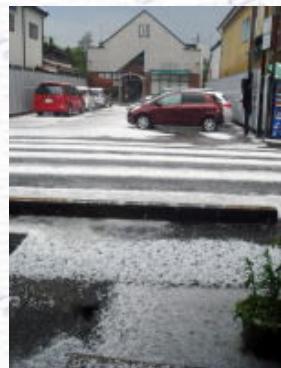
<霰 あられ・ひょう> H24. 5. 10

5月に入って不陽気が続いているが、天気予報通り、すごい嵐になってしまいました。

氏家は、大粒の霰(あられ・ひょう)が……。

我が家家のやっと咲きそろった花々もボロボロになってしまいました。

農家の野菜は大丈夫だったのでしょうか。



(まるで、雪のように積もっています。 5月10日 12:57撮影)

<ラ・フォルネ・ジュルネ・オ・ジャポン(熱狂の日)> H24. 5. 5

今年は、ロシア音楽というテーマでした。

まえから聴きたかったベレゾフスキーのラフマニノフ2番が最終プログラムでした。

期待以上の予想以上の素晴らしい演奏でした。

聴衆と演奏者とが一体化された空間を今までこんなに感じた事はありませんでした。

終わると同時にスタンディングオーベーション。今までに経験したことのない出来事でしたので、感動感動のひとときでした。

<お米の力> H24. 5. 2

不覚にも、孫から胃腸炎をもらい、何も食べられない日が3~4日続きました。

体に力が入らず、こりやあまいなあと思いつつ、おかゆ(おもゆ)をひとくち口にした瞬間、何とも言えぬパワーが…、体中にしみわたる快感を体感いたしました。

お米の力って何なの~と!こんな経験はなかったので、ほんとビックリでした。

お米の中に潜んでいる秘密を、改めて頂いたような…お米に感謝です。

<スミレ> H24. 4. 17

ことし初めて庭石のあいだに咲いていました。

このスミレは、何という名前でしょう。どこから飛んできたのでしょうか。



ことし初めてこんなに花をつけてくれました。
私が植えた椿です。



なんだか、花だよりみたいになってしまいますが、花を愛でることが出来るという幸せを有難く思います。

<お花見> H24. 4. 15

梅、桜がいつしょになってしまった様な…。 うかうかしている間に、草花もいっせいに咲き始めています。

氏家の桜も、今週は見ごろを迎えてます。

この休み、ゆうゆうパークのお花見に、皆で行って来ました。子供達を遊ばせるのにも最高の環境ですし、桜も年々大きくなり、とても楽しみです。

鬼怒川と日光の連山が広々と望め、最高のロケーションです。



<かたくり> H24. 4. 9

寒い寒いと言いながらも、新しい年度が始まりました。

それぞれの思いをかかえながら、新生活を迎えることは心がひきします。

それにしても、今年は桜がぜんぜん咲きません。氏家の桜も、入学式には咲くのでしょうか。



しかし、いつの間にか、我が家のかたちが満開になっていました。
殺風景な庭に可憐な紫が素敵です。



BACK